

会 議 録

- 1 会議名
第4回上越市新幹線駅周辺地区まちなみ検討会議
- 2 議題
 - 1) 開会（公開）
 - 2) 議題（公開）
これまでの検討経緯と今後の予定
駅周辺の公共空間の平面計画について
 - 3) その他
 - 4) 閉会
- 3 開催日時
平成21年12月21日（月）午後1時30分から
- 4 開催場所
ラーバンセンター 第4研修室
- 5 傍聴人の数
4人
- 6 非公開の理由
なし
- 7 出席した人（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

委員	飯塚むつこ、伊藤えり子、内山勇人、大島政義、黒野弘靖、関由有子、田中弘邦、平野仁、水野一郎
オブザーバー	奥野賢新潟県都市政策課長（代理：葦澤学宏同主査）、戸松裕新潟県交通政策課長（代理：金子学同主任） 西田聡東日本旅客鉄道(株)新潟支社企画室長（代理：齋藤浩同主席）、佐藤正人鉄道・運輸機構北陸新幹線建設局次長（代理：滑川昌彦建築課長）
事務局（上越市）	竹田淳三企画・地域振興部長、宮崎豊新幹線・交通政策課長、瀧本幸次同副課長、伊藤伸同係長、飯塚賢治同主任、岩澤紀之同主任、渡来美香同主任、長谷川謙都市計画課係長、山辺志信新幹線新駅周辺整備課主任
委託業者	八千代エンジニアリング(株)

8 発言の内容

(1)開会 (企画・地域振興部長より挨拶)

(2)議事

これまでの検討経緯と今後の予定
駅周辺の公共空間の平面計画について

(事務局より次について説明)
これまでの検討経緯と今後の予定
駅周辺の公共空間の平面計画について

(水野座長) まず、何か質問があればお願いしたい。

(平野委員) 在来線の駅もあるが、通学の方の自転車利用は考えているのか。自転車通学の為の駐輪場設置の有無は。

(事務局) 駅施設として当然必要と考えおり、イメージとしては西口を考えている。

(平野委員) その場合、自転車は歩道を通るのか車道を通るのか。それと歩道の幅はどうなるのか。たしか上越市ユニバーサルデザイン指針では3.5m以上、交通バリアフリー法では自転車通行の歩道幅員4m以上という指針があるが、現在計画している歩道幅員は。

(事務局) シンボルロードは歩道5.5mを確保しており、自転車はここを通る。その中で植栽等も行う。ユニバーサルデザインの指針は確保できると考えているが、個別の話は今後の検討となる。

(水野座長) 次に、それぞれ意見をお願いしたい。

(関委員) 西口の街区公園の植栽は、将来的なことを考えてまばらに植栽されていると思うが、どれくらいのボリューム感になるのか。また、桜がメインになり、桜の種類が多ければ良いと思うが、野趣あふれる植栽としてはどうか。

(事務局) シダレザクラは樹齢が長いので、西口に関してはシンボルにしてはどうかと考えている。それ以外では、単一のものというよりも、ソメイヨシノや、ヤマザクラなどを混植することで、1年の中で長期間桜が楽しめるような空間づくりを目指したい。

(伊藤委員) 山並みと桜を活かすというコンセプトは良いと思う。何種類かを混植することだが、植栽面積が狭いことか

ら、他種類を植栽するとイメージが散漫となることが懸念される。シダレザクラに関しては、樹齢も長いし、100年というコンセプトにも合っているので良いと思うが、シンボルとして植栽するのであれば、もう少しメインとなる位置でもよいのではないか。

(関委員) このスケールだと、あまり混植しない方が良いのではないか。シンボルロードと西側街区公園で樹種を変えるなど、それぞれの軸で性格付けを行い、植栽のバランスを検討してもらいたい。

東口は、10m幅の雁木空間とのことだが、屋根勾配のために駅側が非常に高くなる。もう少しスケールダウンし、ヒューマンスケールに近い雁木の良さが出る空間づくりでも良いのでは。2階部分のセットバックや、高さを抑えられるエレベーターの利用など工夫できるように見受けられる。

(水野座長) 植栽は風情ある空間づくりに寄与するだろう。
それと、東口は現在の断面図のイメージではオーバースケールという印象もある。もう少しコンパクトに納めてもよいかも。

(大島委員) 雁木空間について、この地域は北西の風が強いので有効だと思う。屋根の雪処理はどのように考えているか。

(事務局) 雁木空間はできるだけスマートにしたい。屋根雪処理は、基本的に下ろさないものと考えている。整備費や維持管理費を考慮し、融雪か耐雪のどちらかになると考えている。

(水野座長) エレベーター以外の箇所については、階段やエスカレーターが次第に低くなるため、屋根の高さを下げられるだろう。

(事務局) 妻入にこだわったからこのような形状となっている。

(水野座長) まだ基本的な考えであって、デザインまで入っていない。次の5回目にデザインを出すことになっているので、今の段階でいろいろな意見を出してほしい。

その前に一度確認させていただきたいが、基本的な整備の方向性、コンセプトについては事務局案でよいか。

(委員) (頷き了承)

(関委員) 現在の正面図では昇降施設が左右対称となっているが、シンメトリーでなくても良いのではないか。エレベーターも高くないようなものを採用してほしい。雁木は全て10mスパンでなくてもいいので、人が集まる場所などを考慮し、ポイントポイントで必要な幅としても良いと思う。

- (水野座長) デザイン段階で参考にさせていただきたい。基本的な考え方は今回の案で良いと思う。
- 西口は全て桜になるのはおもしろい。さらに民地側で1施設1本でも良いので植栽を行ってもらえれば、空間に奥行きが生まれるので、官民が一体となって1つの広場を創りあげる、というコンセプトを展開してはどうか。
- (事務局) 現時点では土地利用が不明確であるが、そのような方向性でお願いしたいと考えている。
- (大島委員) 地元でも協力される方は多くいると思う。
- (飯塚委員) 東西の性格付けを行いつつ、全体を和のテイストで統一するのは良いと思う。この際、越後杉など地場材の利用も考慮して欲しい。また地元には良い石があると聞いている。歩道や石畳、あるいは広場のベンチに使用するなど、特色を出せるようにしてほしい。
- また桜の植栽であるが、高遠の桜のように人の手が届くような演出が行えれば、より身近に感じられて良いと思う。
- (事務局) 街路樹として植栽する樹木については、歩行者空間を確保する必要があるため難しいが、公園内の桜については問題ないと考える。
- (水野座長) 地場材の話は以前の会議でも話が出ているが、今回のコンセプトでは抜けているので追加してほしい。
- (事務局) そのように修正する。
- (平野委員) 長野駅東口(新幹線開業時整備)区画整理事業では地元の石として長野市産の柴石を使用していた。確か「故郷顔事業」の一環だったと思う。飯塚委員と同感で、上越も木材・石材等の地元産使用は一考の余地があると思う。
- (事務局) 以前は市内にも石切場があったが、現在は無い状況である。ただ、場所は特定できるので、確認はできると思う。
- (関委員) 妙高市(旧新井市)の千草石もある。頸城野郷土資料室で石について調べているので、確認してみてもどうか。
- (事務局) 上越の雁木の柱下には富山の石を使用していたようだ。
- (関委員) 全て舗装することになると思うが、地被類や張芝なども良いのではないかと。
- (伊藤委員) 桜は根が浅く舗装が浮いてしまうため、根のスペースも考慮したデザインをお願いしたい。歩道への植栽は難しい面もあるので、広い場所への植栽が良いのではないだろうか。

またソメイヨシノは樹齡が短く 100 年もたないため、補植なども考慮しておく必要がある。

(黒野副座長) 雁木空間は、一般的に個人の空間を提供して作られるものである。歩道に面する街区側で受けられると、より良いものになるだろう。

東口の雁木空間は、バスの切符売り場や待合スペースなどにすると利便性も高まるだろう。新幹線の高架下利用が行えればより良い空間となると思われる。

(事務局) 前回も同様の話が出ており、事務局としても非常に有効であると考えている。

(JR東日本) 現時点では高架下利用については何も決まっていない状況であり、今後協議させていただきたい。

(事務局) 是非商業展開をお願いしたい。

(水野座長) 高架下をヒューマンスケールとしては、という意見があったが、例えば現在の片流れの屋根を切妻とすることで、高さを抑えられる。また、背面に植栽を行うことで駅側の目隠しも可能となる。どのような設えとするかは高架下の処理に大きく左右されるので、JR・機構・市で確認・調整の上、検討をお願いしたい。

(内山委員) 黒野副座長と同意見である。

雁木は上越の優しさの象徴。雪や雨をしのぐだけではなく、地域のホスピタリティを表現する場としてほしい。

東口はシンボルロードに桜を植栽する計画であるが、この場所で下りられた方がどこに行くのかということを見ると、利用しやすい公共交通空間であってほしい。

(事務局) 西口については、環の公園的な空間づくりの中で桜を中心とした植栽を考えた。一方東口については、将来的に商業施設が立地した場合、様々な看板などの設置も想定されることから、その目隠しも兼ねて桜を植栽したいと考えている。

(田中委員) 駅や周辺の土地利用が見えないため、イメージが湧いてこない。漠然としたイメージではあるが良いとは思う。

もう少し全体が見えてくると、この場所に必要なイメージが変わってくるかも知れない。全体像が分かれば良いが。

(事務局) 民地や駅側の計画が見えればよいが、現時点では難しい状況である。

(運輸機構) 駅の設計自体は止まっているが、内部検討は進めている。この会議での意見を設計に取り入れたいと考えている。

- (水野座長) 飯山駅の設計の発注が公表されたようだが。
- (運輸機構) 飯山駅は長野県なのでGOサインが出た。現在はプロポーザル方式による発注手続きに入っており、1次審査が終わったところである。上越駅もプロポーザル方式の予定である。
- (関委員) 周辺のことを考えると、駅前広場の形状は東西ともに長方形であるが、区画自体を变形させることはできないのか。
- (事務局) 第1回会議でもご説明させていただいたが、区画自体はこれで決定である。新幹線は上越大通りに対して斜めに交差しているため、どのように配置しても变形した土地は生じる。
- 今回、東側は雁木、西側は公園的な利用を提案させていただいたが、次回に向けた参考とするため、全体の雰囲気や色調などについてイメージやご意見があれば頂きたい。
- (飯塚委員) 全体が和風モダンで設定されるということであるが、近代的な施設は10年程度で古くさいイメージになってしまうので、地場材の素材感など、自然の色彩が良いと考えている。
- 雁木が主体なら、茶系で雪とのコントラストを表現しても良いだろう。
- 西側についてはガラスを用いた開放的な空間づくりということであるが、桝や棧に木材を用いるなど、遺跡を含め、全体的にナチュラルでやさしいニュアンスが良いだろう。
- 当初考えられていたブルーなどの5色については、配色で考えていけばよい。またバリアフリーの観点から黒などの見えやすい配色を用いる必要性もあるが、色味を統一し明度で分かりやすく表示するなど、できるだけ色味にも配慮したほうが良い。
- (水野座長) 本日の各委員からのご意見を踏まえ、具体的なデザインを提案してほしい。提案にあたっては、JR・機構とできる範囲で調整を行ってほしい。

(3)その他 (事務局より説明)

次回のまちなみ検討会議は3月上旬を予定しており、日程調整を行い、開催日を決定、連絡する。

(4)閉会 (事務局より閉会)

9 問合せ先

企画・地域振興部新幹線・交通政策課 TEL : 025-526-5111 (内線 1851)
E-mail : kotsu@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。

第4回上越市新幹線駅周辺地区まちなみ検討会議

出席者名簿

氏名	在籍等	出欠等
飯塚 むつこ	会社経営、カラーコーディネーター	出席
伊藤 えり子	㈱英香園取締役	出席
内山 勇人	上越青年会議所理事長	出席
大島 政義	和田地区振興協議会会長 上越市北陸新幹線建設促進まちづくり協議会会長	出席
黒野 弘靖	新潟大学工学部建設学科 准教授	出席
関 由有子	せきゆうこ設計室主宰、一級建築士	出席
田中 弘邦	上越商工会議所会頭、上越観光コンベンション協会会長	出席
平野 仁	会社役員	出席
水野 一郎	金沢工業大学環境・建築学部教授	出席
本山 雅彦	㈱JTB 関東上越支店長	欠席

オブザーバー

氏名	在籍等	出欠等
奥野 賢	新潟県土木部都市局都市政策課長	欠席
蕨澤 学宏	〃 〃 〃 主査	代理
戸松 裕	〃 交通政策局交通政策課長	欠席
金子 学	〃 〃 〃 主任	代理
西田 聡	東日本旅客鉄道㈱新潟支社企画室長	欠席
齋藤 浩	〃 〃 〃 主席	代理
佐藤 正人	鉄道・運輸機構北陸新幹線建設局次長	欠席
滑川 昌彦	〃 〃 〃 建築課長	代理

上越市(事務局)

氏名	在籍等	出欠等
竹田 淳三	企画・地域振興部長	出席
宮崎 豊	〃 新幹線・交通政策課長	出席
瀧本 幸次	〃 〃 〃 副課長	出席
伊藤 伸	〃 〃 〃 係長(新幹線・並行在来線担当)	出席
飯塚 賢治	〃 〃 〃 主任	出席
岩澤 紀之	〃 〃 〃 主任	出席
渡来 美香	〃 〃 〃 主任	出席
奥田 博	都市整備部都市計画課長	欠席
長谷川 謙	〃 〃 〃 計画係長	代理
市川 公男	〃 新幹線新駅周辺整備課長	欠席
山辺 志信	〃 〃 〃 主任	代理
中西 聡	教育委員会生涯学習推進課副課長	欠席
委託業者	八千代エンジニアリング㈱	出席